

紀の国わかやま文化祭 2021・地域文化発信事業

「和歌山の近現代美術の精華」展関連事業

体験アート・ワークショップ

光とあそぶ

“乗ってみて、作ってみて” カメラの中に入る体験ワークショップ

足元に広がる大地、キラキラ輝く海、蒼く澄んだ空、光によって表情を変える豊かな和歌山の自然。そこにはさまざまな色があふれています。光とあそびながら楽しい体験をしてみませんか。2012年、田辺市中辺路町近露で制作されたリヤカーに載せた移動式ピンホールカメラ《リヤカーメラ》の制作者佐藤時啓さん(美術家)を講師に迎え、動くことによって新たな驚きをもたらす大きなカメラに試乗します。また、かぶるカメラづくりにも挑戦、どちらもカメラの原点を体験するアート・ワークショップです。

2021年10月30日(土)・31日(日)

会場：和歌山県立近代美術館



光とあそぶ

紀の国わかやま文化祭 2021・地域文化発信事業
「和歌山の近現代美術の精華」展関連事業

体験アート・ワークショップ

(要申し込み)

リヤカーカメラ試乗体験と"かぶるカメラ"ワークショップ

好奇心くすぐる体験を通して、写真の不思議を考えます。

講師：佐藤時啓（美術家）

日時：2021年10月30日（土）10:00～15:00

2021年10月31日（日）10:00～15:00

会場：和歌山県立近代美術館 敷地内及び2階ホール

対象：小学生以上一般成人まで

定員：15名程度（両日とも）定員になり次第締め切ります。

参加費：500円（保険、材料費）

申し込み開始：9月30日（木）

申し込み先：特定非営利活動法人和歌山芸術文化支援協会（wacss）

Tel：073-454-5858 E-mail：office@wacss.org

*当日は、昼食、飲み物（お茶や水）持参、動きやすい服装でお越しください。美術館の作品保存の観点から、飲み物は砂糖の入っていないものにしてください。



佐藤時啓 Tokihiro Sato

（美術家、東京藝術大学美術学部先端芸術表現科教授）

1957年山形県酒田市生まれ、彫刻制作を経て写真に転向し、〈光一呼吸〉と題された長時間露光の写真作品及び〈Gleaning Light〉と題されたピンホールカメラをもちいた写真作品を制作する。

また最近では写真装置の仕組みを用いたプロジェクトなどで知られる。

〈光一呼吸〉シリーズは大型カメラによって風景を長時間露光撮影する。露光中にペンライトや手鏡を用い、被写体となった風景の中で自らカメラに向けて発光させた光は、自身の移動した痕跡となる。しかし長い露光の結果画面上に自身の姿は写らない。このことにより四角に切り取られた光景の中に移動やその時間という概念が取り込まれ、またその連続により画面上に現れた光と、消え去った主体（不在）によって普遍的な「存在」について言及しようとする。

平成27年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。国内外で様々なアート・プロジェクトを実施し、高い評価を得ている。

「光とあそぶ 2020」作品展覧会 in 田並劇場

日時：2021年11月13日（土）～21日（日）13:00～17:00（open 月、水、土）

（申し込み不要）



2020年7月、8月、9月の3回、林憲昭氏による串本地域の光を集めたワークショップ参加者の個性ある作品を展示します。

会場：串本町田並劇場

〒649-3515 和歌山県東牟婁郡串本町田並 1547 Tel：0735-70-1046

主催 / 文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会 和歌山県立近代美術館 NPO法人和歌山芸術文化支援協会 協力 / 田並劇場保存会

申し込み、問い合わせ：特定非営利活動法人和歌山芸術文化支援協会（wacss） 〒640-8462 和歌山市粟 427-1 地産マンション紀ノ川 602

Tel：073-454-5858 E-mail：office@wacss.org <https://www.facebook.com/wacss.org>

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入場制限、内容の変更、公演等の中止を行う場合があります。

*事業の様子について主催者の許可を受けた組織や事業者が撮影した写真やビデオ等が公開される場合があります。

